

令和2年度福岡県市町村地方公営企業会計決算（速報）について （政令市を除く）

1 事業数及び決算規模

- 事業数は、174 事業（前年度から 3 事業減）。
決算規模は、前年度に比べ 83.9 億円（5.0%）増加して 1,751.0 億円となった。
（単位：億円）

	令和元年度		令和2年度		増減(R2年度-R1年度)	
	事業数	決算規模	事業数	決算規模	事業数	決算規模
法適用	120	1,667.1	134	1,751.0	14	83.9
法非適用	57		40		▲17	
計	177	-	174	-	▲3	-

（注1）地方公営企業法の適用の有無による分類。法適用企業では、民間企業と同様に発生主義に基づく複式簿記で経理。
（注2）事業数は、各年度とも3月31日現在。

2 損益の状況

- 法適用企業における経常損益、法非適用企業における収益的収支が赤字の事業は 28 事業（前年度比 8 事業増）。

3 資金不足比率の状況

- 資金不足額が生じた事業は、前年度から 3 事業減の 1 事業で、小竹町の病院事業。資金不足比率は経営健全化基準（20%）以上となっている。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う入院患者数の減少（延べ入院患者数 R1：10,132 人→R2：6,216 人）によって収支が悪化したことが主な要因となっている。

（単位：百万円）

団体名	事業名	資金不足額	資金不足比率(%)	経営健全化基準(%)	【参考】事業の規模
小竹町	病院	99.8	26.5	20.0	375.7

（注）資金不足比率＝資金不足額／事業の規模

※ 資金不足比率が経営健全化基準以上である場合には、経営健全化計画を議会の議決を経て策定し、公表すること等が義務付けられている。

4 企業債発行額・企業債残高の状況

- 令和2年度の企業債発行額は 321.0 億円（前年度比 17.1%増）。
○ 令和2年度末の企業債残高は 5,374.1 億円（前年度比 2.0%減）。

5 主な法適用企業の決算概要（〔 〕内の金額は経常損益）

- 水道事業 …増収増益〔63.2 億円の黒字（前年度比 2.7 億円の黒字増）、経常収支比率 113.1〕
○ 病院事業 …減収赤字額減〔2.2 億円の赤字（前年度比 5.1 億円の赤字減）、経常収支比率 98.8〕
○ 下水道事業…増収増益〔54.1 億円の黒字（前年度比 7.0 億円の黒字増）、経常収支比率 110.5〕

（注）経常収支比率は「（経常収益／経常費用）×100」で算出。普通会計と異なり、100 を超えると黒字を意味する。